

# お寺で新年を迎えませんか？

除夜の鐘 12月31日(水)  
午後11時45分～

引き続き  
元旦会 お勤め・法話  
1月1日(木)  
午前0時～

除夜の鐘・元旦会に参拝された方には紅白餅  
(メッセージカード付)をお配りしております  
ぜひお参りください。

真教寺の鐘楼堂です



昭和三十年に寄贈されたことが残っております

## 除夜の鐘とは？

他宗の寺院では、百八つの煩悩の罪を滅するためと称して、「除夜の鐘」を撞く行事もありますが、浄土真宗では、過ぎし一年の念仏生活を振り返りながら、反省と感謝の念で鐘を撞き、その音色を阿弥陀さまのおこころ(大慈悲心)の声として、この身で拝受させていただきます。

## 元旦会とは？

新年を迎え、真実のみ教え生かされる身のしあわせをよろこび、念仏もるとともに報恩の生活の第一歩をふみだす法要です。

しょうふうほうじゆ  
清風宝樹をふときは  
おんじょう  
いつつの音声いだしつ  
きゅうしょうわ  
宮商和して自然なり  
しょうじょうくんらい  
清浄勲を礼すべし

<『浄土和讃』より>





## しんきょうじくらぶ 真教寺倶楽部

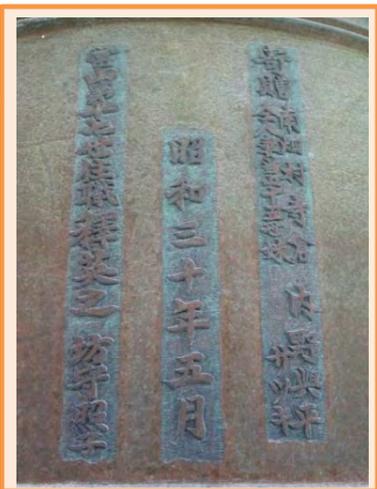
浄土真宗本願寺派(西本願寺)

千部山 真教寺

住職 井上 敦之

〒811-1222 筑紫郡那珂川町下梶原2-8-1  
TEL 092-952-2429

第6号  
平成26年12月



鐘には左記のことが記載されていきました

寄贈 南畑村寺倉 内野 興平  
当山十五世妹 サツキ  
昭和三十年 五月  
十七世住職 釈英之 坊守照子

内野サツキさんは前住職の叔母あたる方です

## お寺ステーション

真教寺女性の会が、本願寺新報  
(11月20日号)に掲載されました。  
女性ならどなたでも参加できます。  
お気軽にどうぞ。



# 仏教婦人会特集

仏婦が主催、新しい場を提供

仏婦 がんばってます



真教寺女性の会 (福岡)

身近な人をくし、同寺仏教婦人会主催で、葬儀や法事で仏教や浄土真宗の話を聞いて興味を持って、初めての人には「お寺の敷居が高く、入りにくい」といった反応が多かった。気軽に来てもらうにはの思いから、初めて法話を聞く人のための新しい場所として「真教寺女性の会」を、毎月15日から20人が参加する。8月の例会の茶話会では本願寺新報の1日午後、2時間程の例会で、正信念仏儀のおつとめ、法話、仏事の基本についての質疑応答は茶話会形式で行われる。一回の受講料は300円。講師は井上副住職が担当し、仏事についての質問では「故人はバラが好きだった。お仏壇にお供えてもいいの三娘が嫁いだため家の継承者がいなくなったが、過去帳の記載はどうなるのよ」と、普段思っている悩みを声に出し、井上副住職を中心にみんなで話し合った。友清紀代子(88)さんは子どもをくしたことがきっかけで例会に参加した。「初心者のための勉強会、仏教の話にうなずく中で聴聞が楽しみになった。ここは『同級生』の集まりで仏さまを中心に人と人のつながりも生まれました」と喜んだ。

## 葬儀などでご縁の初めての人に

## 「まんまん茶房」



今年の8月19日に開催しました、『なかがわキッズサンガ』を紹介します。今回で21回目を迎えることとなった『なかがわキッズサンガ』は、那珂川町内のお寺(8ヶ寺)で共同開催をしています。真教寺としては、3回目の会場となりました。子どもたちの参加人数が81名と、過去最多となりました。内容として、仏讃(おつとめ・法話)の後、ペットボトルで水でつぼう作りをしました。昼食は、夏ならではの流しそうめん。ご門徒の方々に準備していただき、大盛況の中に、お腹いっぱいにそうめんをいただきました。そして、仏教婦人会による「かしわのおにぎり」も絶品でした。そうめん流しが初体験の子もいて、すくうのに悪戦苦闘。食べ方のマナーとともに、みんなで食べ物を分け合うことの大事さも学びました。さあ、昼食の後はお楽しみタイム。縁日遊びで盛り上がりながら、自分で作った水でつぼうの当てをしました。それだけでは物足りず、着替えを持参していただいたので、みんなで水でつぼう合戦をしました。途中、キッズサンガ名物：？の河童(かっぱ)さんが出現！河童さんが的になっていました。でも、河童は水が大好き、大喜びだったようです。子どもたちは、思いっきり声を出し、笑顔いっぱい時間を過ごしました。もちろんスタッフの大人も一緒に！この『なかがわキッズサンガ』のような、子どもの居場所をこれからも大事にしたいと思えます。みんなみんな、ほとけ(阿弥陀さま)の子！

(副住職)



そうめん流し作成  
白水良弘さん  
水田勝也さん  
築地正輝さん  
川口正明さん